

市長公約実現に向け本格始動 高齢者見守りに先端技術活用へ

市議会6月定例会で、一般会計5億8542万円の補正予算案などが可決されました。本年度当初は、四方源太郎市長の就任直後だったため、義務的経費を中心に編成した「骨格的予算」でスタート。今回の追加補正で「綾部チャレンジ予算」として、市民提案事業への支援や医学の知見を活用した安心のまちづくりの推進など、市長公約の実現に向けた政策的経費を肉付けしました。その主な内容を紹介します。

綾部チャレンジ予算

府内市初

医師のU・Iターン開業を後押し

1,100万円

医師等が市内で診療所を新規開業・承継する場合、建物の増改築、医療機器の購入などにかかる経費を補助します。



市民提案による事業を後押し 500万円

市民団体等が企画・実施するイベントやプロジェクトチームX (PTX) の研究成果に基づく市民提案型事業などに補助します。



5月29日のPTX説明会には140人が参加

医学の知見を生かした安心のまちづくりを推進

22万円

高齢者などの見守り体制を強化するため、大学・企業と連携し、AIなどの先端技術を活用した未来型の予防医療について調査・研究します。

≡ 記念講演会を開催 ≡

事業開始に当たり、暮らしのデータを活用した新しい健康支援をテーマに講演会を開催します。

日 時 7月30日 (木) 午後4時～5時

場 所 あやテラス・ホール (青野町)

詳細は、市ホームページ=右QRコード=参照



がん患者の生活を支援

40万円

ウィッグや乳房補整具等の購入費用、若年がん患者の訪問介護などにかかる経費を補助します。



京都府農林水産技術センター移転へ機運醸成

20万円

京都府農林水産技術センター (亀岡市) の綾部市への早期移転に向けた機運を高めるため、交流会を開催します。

子どもの通院医療費の助成を18歳まで拡充

630万円

子どもの通院医療費の助成について、12月診療分から、1医療機関当たりの自己負担上限額を月200円とする対象年齢を18歳まで拡充します。



夜間公共交通の確保へ調査・研究

50万円

有識者を招いた検討会や先進地視察を行い、持続可能な交通手段を調査・研究します。



居住環境の整備を推進

1,315万円

青野・井倉地区、高津地区の宅地化に関する調査を行います。

飼い主のいない猫の繁殖を抑制

10万円

飼い主のいない猫の不妊・去勢手術等にかかる費用を補助します。

その他の施策

エネルギー・物価高騰対策 →事業活動への負担を軽減

福祉施設・医療機関の光熱費▽農業者の肥料代▽畜産農家の飼料代▽中小企業が府の融資制度を利用する際の信用保証料を補助

市民の生活環境の充実 →施設改修・インフラ整備を推進

●清山荘 (里町)、I・Tビル (西町一丁目)、あやべ温泉 (睦寄町) の設備更新

●東綾公園 (川糸町) =右写真=に多目的広場を整備



各種計画策定も可決されました

第6次綾部市総合計画後期基本計画

今後5年間 (令和8～12年度) のまちづくりの指針となる計画。第6次綾部市総合計画 (令和3～12年度) の後期の取り組みを具体化させたものです。



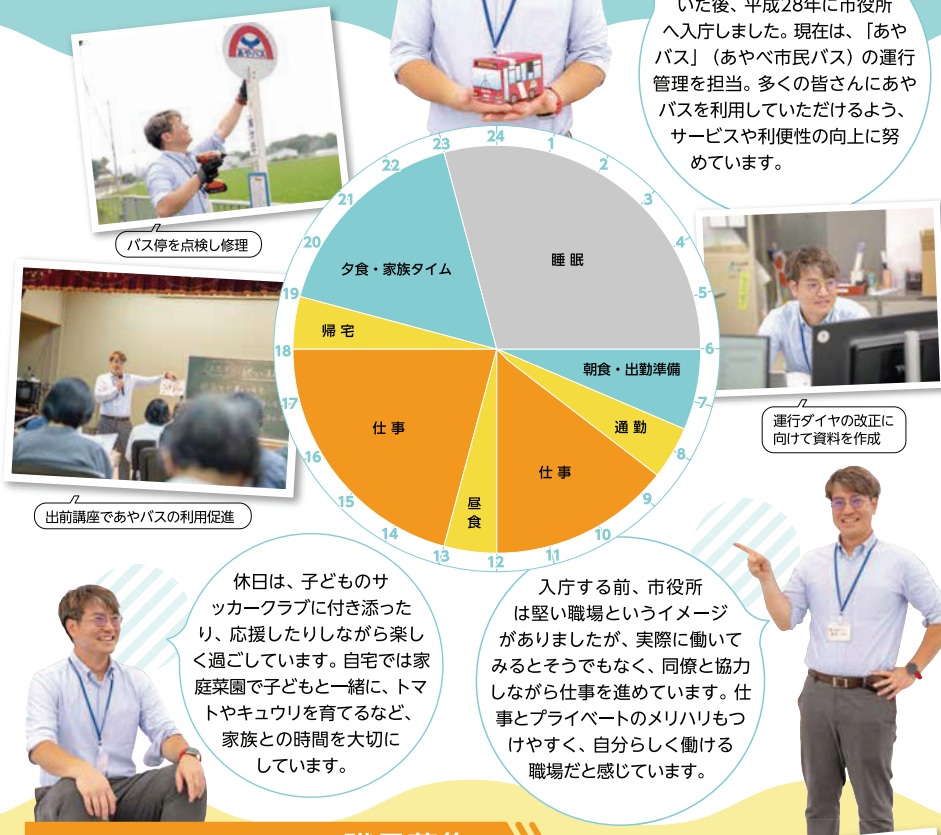
第4次綾部市男女共同参画計画「あいプラン」(改定版)

全ての人が性別にかかわらず活躍できる社会の実現に向け、施策の方向性を定めた計画 (令和12年度まで)。主に、法の施行・改正や市民意識調査の結果を踏まえて見直しを行いました。

市役所職員の1日に密着!

浜木さん(平成28年度採用)
市民環境部市民協働課

民間企業で8年間働いた後、平成28年に市役所へ入庁しました。現在は、「あやバス」(あやべ市民バス)の運行管理を担当。多くの皆さんにあやバスを利用していただけるよう、サービスや利便性の向上に努めています。



休日は、子どものサッカークラブに付き添ったり、応援したりしながら楽しく過ごしています。自宅では家庭菜園で子どもと一緒に、トマトやキュウリを育てるなど、家族との時間を大切にしています。

入庁する前、市役所は堅い職場というイメージがありましたが、実際に働いてみるとそうでもなく、同僚と協力しながら仕事を進めています。仕事とプライベートのメリハリもつけやすく、自分らしく働ける職場だと感じています。

令和9年4月1日採用 職員募集

【試験区分】

- 一般試験
(高校・大学卒業者など対象)
- 社会人経験枠

【募集職種】

事務職員、消防職員など

【申し込み】

7月29日(水)から、市ホームページに職員採用試験の申し込みフォームを掲載

【申込期間】

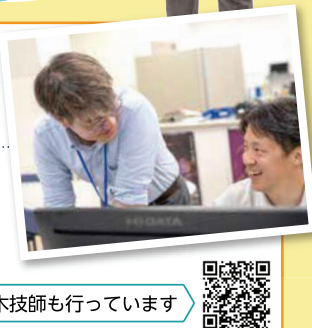
7月30日(木)～8月28日(金)

【1次試験の内容】

一般教養試験かSPI3試験のどちらかを選択
(社会人経験枠はSPI3試験)

【試験日】 9月20日(日)

【通年募集】 デジタル人材、土木技師も行っています



<問い合わせ> 職員課 ☎ (42) 4228

全社で黒字達成

市内の第3セクター3社がこのほど、定時株主総会を開催。
昨期の事業や決算を報告し、今期の事業計画などを決定しました。

3セク3社 決算報告

エフエムあやべーFMいかる

経常利益 222万円 純利益 107万円

映像制作・配信事業が好調

市民に身近な放送局として、市政、防災、地域ニュースなど、多様な情報を提供。昨期は、災害時を想定した独自の情報伝達訓練を行うなど、防災機能の強化にも取り組みました。放送外事業では、映像制作やイベント音響による収益が堅調。綾部の茶のPR動画を制作し、大阪・関西万博関連事業で公開したほか、小規模特認校の紹介動画も手がけ、市の魅力発信に貢献しました。今期も地域メディアとしての信頼性と発信力を生かし、新たな事業機会の創出に取り組みます。



小規模特認校の紹介動画を市公式YouTubeチャンネルで公開

水夢—あやべ健康プラザ

経常利益 481万円 純利益 325万円

運営改善で地域に選ばれる施設へ

昨期は、スタッフ不足や少子化の影響により、子どものスイミングスクール会員数が減少しました。そうした中でも、健康づくりへの関心の高まりを受け、成人会員の獲得や各種イベントの開催により、施設の利用促進に努めました。また、綾部市の子育て支援事業を受託し、親子で楽しく体を動かせる機会を提供するなど、地域貢献にも取り組みました。今期は、早朝利用会員制度の導入やデジタル技術の活用を進め、子どもから高齢者まで誰もが利用しやすい健康拠点として、さらなるサービス向上に努めます。



利用者の安全確保のため
プール底面を全面改修

緑土—あやべ温泉

経常利益 1,320万円 純利益 1,298万円

7期ぶりに黒字転換

昨期は、エネルギーや物価高騰の影響を受ける中、経営の効率化に力を注ぎました。特に、多様化する利用者のニーズに対応するため、接客サービスの向上に取り組むとともに、コスト管理を徹底。その結果、平成11年の設立以来、過去最高の営業利益を達成しました。今期は、あやべ温泉独自の強みである「良質な源泉」の魅力発信とともに、もう一つの強み「お客様に近い接客」にさらに磨きをかける「ワン・オン・ワン戦略」を徹底し、「京都で一番優しい温泉」を目指します。



地元産食材を使った新メニューの
販売や昭和レトロな品々を展示

あやべ人権フェスタ 2026

日時 8月9日(日) 午後1時30分～

場所 あやテラス・ホール(青野町)

詳細は本紙お知らせ版参照
 <問い合わせ> 人権推進課 ☎(42) 4249



夜間中学描いた映画を上映

市は、8月の人権強調月間に合わせ、8月9日に「あやべ人権フェスタ2026」を開催。映画「35年目のラブレター」の上映会を行います。映画は、読み書きができないまま大人になった男性が、定年退職後に夜間中学に通い、35年間苦楽を共にした妻にラブレターを贈る物語です。この機会に、学ぶことの意味について考えてみませんか。

学ぶことは一つの権利

「学ぶこと」は、誰もが持つ大切な権利です。しかし、家庭の事情や不登校などで、学齢期に必要な義務教育を受けられなかった人もいます。そうした理由から学び直しを希望する人や日本語習得を目指す外国人らに、民間団体などが学びの

場を提供している「自主夜間学校」の取り組みがあります。この自主夜間学校は、「夜間中学」とは異なり、学校教育法に定められた学校ではないため、卒業資格を得ることはできません。しかし、生徒たちは学ぶ喜びを感じ、学習を支える大学生や社会人のボランティアスタッフも、生徒との交流を通して新たな気付きを得るなど、共に成長しています。

シリーズ 人権を考える 8月は人権強調月間

あやべっ子 もぐもぐ通信

市内の全小・中学校の給食は、各学校で給食調理員が心を込めて作る自校調理方式。地域の農産物の使用や工夫を凝らした献立などで、安全・安心でおいしい給食を提供しています。

シャキシャキ食感がアクセント「ハンバーグ ～洋風きんぴらソース～」

カルシウムたっぷり「いりどり野菜の豆乳スープ煮」

6月9日(火)

6月は、「歯と口の健康週間」(6月4～10日)にちなんでメニューを各学校で提供しました。豊里小学校では、子どもたちに人気のハンバーグにゴボウを使ったソースを合わせ、噛み応えが出るように工夫。具だくさんのスープ煮には、歯や骨の基になるカルシウムを豊富に含む小松菜や豆乳を取り入れました。



手話でつながろう

今月の手話

大丈夫

軽く曲げた右手の指先を左胸に当ててから

右胸に当てる

動画で動きを確認できます。ぜひご覧ください。





協力：京都府聴覚障害者協会綾部支部

PTX プロジェクトチームX

研究チーム続々エントリー!

現在募集中のプロジェクトチームX(PTX)は、6月末時点で17チームから応募がありました。今回は、エントリーのあったチームの一部を紹介します。

●綾部市フィルムコミッション 研究会 (代表：井関 悟)

綾部市は、ロケ地や映像制作の舞台となる実績がある一方で、撮影の受け入れ体制や情報発信体制が整っておらず、PRしきれていない状況です。行政や観光協会、地域メディア等が連携し、綾部市に適したフィルムコミッションの在り方について研究します。

●あやべ未来応援倶楽部 (代表：松下 可奈)

市内企業の代表者が構成員。綾部市を盛り上げるにはどうすればよいか研究します。PTXの他チームの研究支援、スポーツチームの結成・育成、起業を目指す大学生等を対象にファンディングコンテストを実施します。

●桑で綾部を盛り上げ隊! (代表：前田 優歌)

綾部高校東分校の前身は、京都府蚕糸業組合立高等養蚕伝習所であり、桑との関わりが深い学校です。高校生のアイデアを生かし、桑を活用した地域活性化を目指して研究します。

●志賀郷和会 (代表：相根 一雄)

森林整備および森林を活用した地域の活性化を目指すため、志賀郷地区の森林経営計画の策定、クロモジ等の事業活用の可能性を調査・研究します。

●あやべ若者観光協会 (代表：林 紘行)

綾部市は近隣市と比べ、観光資源が少なく、観光目的で訪れる人が少ないのが現状です。市の知名度を上げ、目的地として訪れる人を増加させる施策を研究します。

源ちゃんコラム 由良川 ⑤

「教育環境日本一」とは

6月15日に「論理エンジン」の開発者、出口汪さんを綾部市教育アドバイザーに任命しました。「教育環境日本一」を実現するためには、全ての教科の基礎となる論理的思考力を強化することが必要だからです。

私は幼い頃から読書が好きだったものの、国語で良い点数が取れなかったのが、出口さんの著書「きょうと違う自分になりたいロジカル・シンキング入門」(1998年、中経出版)を読み、それがなぜだったかを気が付きました。

そこで23年前の2003年、出口さんを綾部に招いて講演会をしました。1枚500円の入場券でI・Tビルがほぼ埋まるほど参加したとき、これをきっかけに綾部市の教育改革に取り組みしたのが、講演会の4年後の府議選で落選し、出口さんもさらに忙しくなられて、わずかに年賀状のやり取りだけだったのが、縁が復活したのは府議10年目の2021年正月。コロナ禍の最中でした。年賀状の返信に「綾部の教育改革に力を貸してください」と書き添えたところ、「何でも協力します。声をかけてください」とメールで返信をいただいたのです。

その年の7月に綾部にお招きし、当時の市長、教育長らと会っていただいたことで、翌年から綾部、中筋、吉美小学校で「論理エンジンキッズ」(小学生版、現在は論理エンジンスパイラル)が導入されました。「論理エンジン」は多くの有名私学や進学塾で取り入れられている教材ですが、公立の小学校で導入したのは綾部市が全国で初めてでした。

しかし、これは受験に強い子どもを育てることだけが目標ではありません。「学校が教えないことを教える教育」ではなく、「子どもが学びたいことを探求する教育」が私と出口さんの共通目標で、それが「論理教育」なのです。

人間社会は一定の法則や筋道に沿って進んでおり、論理が理解できれば、他人に強制される人生ではなく、自ら選択をする人生を歩むことができるのです。

四方源太郎(綾部市長)